

◆男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成 29 年度第 3 回)

議 事 次 第

2018 年 3 月 5 日 (月) 開催

時 間	15:00～17:00		場 所	地盤工学会会議室	
片 岡 委 員 長	○	亀村オブザーバー	○	山 口 (恵) 委 員	○
西岡オブザーバー	×	熊 野 委 員	○	渡 邊 委 員	×
清 木 委 員	○	隅 倉 委 員	○	高 原 委 員	○
藤 澤 委 員	×	山 口 (智) 委 員	×	平 永 委 員	×
田 中 委 員	○	鳥巢オブザーバー	×	藤田オブザーバー	×
北 田 委 員	◎	藤 原 委 員	○	尾原オブザーバー	○

○：出席 (◎：WEB) ×：欠席 △：未定

議事録担当者の選出

熊野委員(28-4) → 北田委員(29-1) → 田中委員(29-2) → 清木委員(29-3)

前回議事録の確認 【別紙 - 1】 pp. 1- 3

- ・確認済ということで、議事録とした。

【議 題】

【報告事項】

1. 会員支部部の動き (北田委員, 田中委員) 【別紙 - 2】 pp. 4-15

- ・特別会員強化WG：若手座長の選考は好評、会員増につながる可能性がある。
- ・技術普及委員会：講習会開催時の映像のWeb同時配信を試みている
- ・ダイバーシティ委員会:託児所の扱いについて検討依頼があった。
- ・学生で障害のある方の会員の扱いと会費減免措置について相談があった。議論を進めた結果、特別に学生会員でも認める。全国大会の
- ・女性賞を再度提案した。会員支部部の功労賞と同様に扱うとして、その選考基準など継続審議とする。この件、他の賞の様に点数化できないので表彰委員会で扱うことができない背景がある。そのため会員支部部で対応。

2. 他学会の動き (平永委員, 片岡委員, 田中委員)

・土木学会 (第73 回年次学術講演会 関係) 【別紙 - 3】 pp.16- 17

- セッションにダイバーシティ委員会の活動への投稿依頼があった。
- ・男女共同参画学協会
- ・会費の増額に対しての議題。
- ・4～5年に1回のアンケートを実施しており、これまで会員のボランティアで無償対応であったが、以

降、アンケート配布の範囲や海外からの留学生対応が必要で、取りまとめに負担が増える関係で、業者に委託することになった。そのために、会費の増額を依頼されている。地盤工学会は、現在オブザーバー会員で5000円の会費であるので、増額されても対応できると考える。

3. ダイバーシティ座談会（熊野委員，藤原委員） 【別紙 - 4】 pp.18-19

- ・2017年度は10月に開催し、12月に原稿を作成した。査読も終わり、5月の学会誌に掲載予定。
- ・この度の原稿にはHP、Facebookに座談会の開催報告を掲載していることを追記した。

4. 技術者紹介WEB 版（高原委員，藤澤委員） 【別紙 - 5】 pp.20-21

- ・完成した原稿は、3か月おきに順次WebにUPをしている。濁川さんの原稿掲載準備ができつつある。北田理事にも執筆依頼をしている。
- ・委員会で4つのグループに分けてあるが、どのグループに所属するのか委員の認識が薄いので、再度周知する、執筆の依頼は、現在委員の知り合いにお願いしているが対象が少なくなるので、執筆者の推薦をルーチン化する必要がある。

5. 委員会HP の更新（熊野委員） 【別紙 - 6】 pp.22-27

- ・2016年度末～2017年度にかけて、学会HPが更新されている。この更新以降、順次コンテンツをUP、H28年度分までの議事録をUP済みである。
- ・委員会のWebページが、学会全体のHPの中で、階層が低いところにある。そのために会員の目につかない。これは他の部の委員会と共通して同様の低い階層に置かれている。本委員会は、会員全体を対象として情報発信をすることが主体の委員会なので、他の委員会とは別の扱いをして欲しいということを広報委員会に申し入れることになった。
- ・HPに記載するスピードをUPする。
- ・一般の会員がとりつきやすいように、「おしらせ」にHPを更新のたびに、投稿をお願いする。イベントの開催前、開催後に「おしらせ」への情報UPを担当事務局に細目に対応をお願いする。

6. サポーターメール配信（藤原委員）

- ・12/8 サポーターメール(ハザリカ先生などの技術者紹介がWebにUPされたことなどを案内)。今後、濁川様のコンテンツがUPされたことを案内するためにメールを出す。
- ・5月号の会誌に昨年のダイバーシティ座談会の開催報告が掲載されるタイミングを見て、サポーターメールを挙げる。
- ・理事会のメンバーにダイバーシティ委員会の活動内容を少しでも知っていただくために、サポーターメールを理事に送らせて頂く了解をとる。

7. その他 【別紙 - 7】 pp.28-29

- ・2018 年度予算に関して（片岡委員）
- ・3次予算案が条件付きで了承された。旅費を少し削減しWeb会議などで旅費を節約する対応を行う。
- ・全国大会の際に委員会を開催検討の依頼があったが、会議室の数が限られており、委員の発表スケジュールと重ならないように調整することが難しいので、開催を見送る。

【審議事項】

1. 2018 年度 業務分担（片岡委員） 【別紙 - 8】 p.30

- ・山口(恵)委員、田中前委員長が次期交代、隅倉委員がオブザーバーとなることを踏まえて担当を調整する。
- ・若手座談会：藤原、山口(恵)、山口(智)各委員、北田理事、片岡委員長
- ・夏の学校への参加は、リコチャレとどちらにするか検討(後述)：清木、熊野各委員、尾原オブザーバー、(藤澤委員)
- ・夏の学校は、8/9(木)-11(土)の開催。原点に戻る意味で、ポスターセッションのみとなる。広報委員会の出前授業との連携も検討。
- ・全国大会特別セッション：平永委員、清木、片岡委員長、北田理事
- ・サロン・土・カフェW：隅倉委員、熊野委員、(平永委員)、(清木)、(片岡委員長)(北田理事)
- ・技術紹介：高原先生、藤澤様。執筆依頼のルール化と担当者のロードを軽くすることを検討。査読への対応に委員会内のグループを再度確認する。
- ・Web担当：高原委員、渡邊委員：
- ・男女共同参画学協会：熊野、山口(恵)、隅倉各委員、尾原オブザーバー、片岡委員長
- ・サポーターメール：藤原委員

2. 全国大会 特別セッション，サロン・土・カフェW（片岡委員，他）

特別セッション：登壇者（3名程度？，登壇者の構成は？）

- ・昨年は若手座談会を全国大会の時期までに開催していなかったもので、3名である。
→JGS四国支部(全国大会の実行委員会)にシニアの技術者の推薦をお願いする(片岡委員長)
- ・清水建設四国支店から1名女性を頼む(隅倉委員)。
- ・愛媛大学のネパール籍の先生に登壇をお願いする(北田理事)。
- ・委員の中で、御多忙な方の担当も見直すことは望ましいが、本人が了解しているようであればその限りではない

サロン・土・カフェW：会場の確保等

- ・会場の確保を委員長が実行委員会に依頼。その回答を受けて、隅倉、熊倉各委員に引き継ぐ
- ・託児所は、費用をかけているが利用が少ない。日本人の利用者少ない。海外の方は約束を守らないなど問題がある。駅近くの託児所をあっせんするのが他学会の動向であり、これは費用も抑えられるので良いと考えられる。岡山大会でも託児所を会場以外で頼んでいた実績があるようなので、実行委員会が頼みやすい方法で実施して頂くのが良い。

3. ダイバーシティ座談会

開催時期，内容など

- ・全国大会、関東支部のイベントを避ける必要があるが、こちらで日程決定を先行する
- ・若手、小さな子供が居られる方を対象にする方向性で藤原委員、担当メンバーで相談する。委員会で素案を決定後、関東支部の会員サービスグループに相談し、日程が近すぎたり、被ったりしないようにする。
- ・山口(智)委員の担当を再調整する。

4. 会費減免制度に関して（北田委員） 【別紙 - 9】 pp.31-34

- ・会費減免制度の効果について理事会で疑問が出て来た。また、ダイバーシティの活動に対して理解が得られていないところがある。次年度11月を目途に、減免制度の効果について資料を整理する。
- ・まずは、減免制度を適用している方にアンケートを行うなど検討する。

5. その他

- ・リコチャレ(6/24(日)開催。パネルディスカッション；シンポジウムの合間でブース)。夏の学校(ポスターセッション)の何れかに対応することを検討した結果、2018年度はリコチャレ、夏の学校の優先順位で申し込むことになった。

以上